取扱説明書

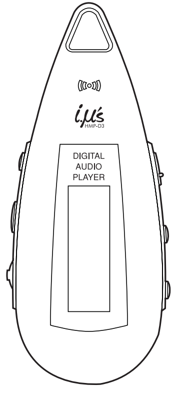
日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ずご記入をお受けください。

デジタルオーディオプレーヤー

HMP-D3形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



● 本機には、動作確認デモ用として、オリジナルインストゥルメンタル曲「Breath of Muse」(※) が収録されています。
※ファイル形式：MP3、ビットレート：128kbps、ファイル容量：3.42MB

目　次

はじめに...3

安全上のご注意.................................3
あらかじめご承知いただきたいこと.......9
使用上のご注意...............................10
主な特長..12
付属品を確認する...........................13
各部の名前......................................14
表示画面の見方...............................15

準備する.......................................16

電池を入れる／交換する.................16
　■使用できる電池について..................17
　■電池残量表示について......................18
イヤホンを使用する.........................19
電源をオンにする／オフにする.....20
ホールド機能を使う.........................21
音量を調節する...............................22

再生する前に.................................23

パソコンから曲ファイルを取り込む....23
　■パソコンから曲ファイルを
　　取り込む前に....................................23
　　○再生できるファイル形式を
　　　確認する..23
　　○パソコンの動作環境を確認する...24
　　○音楽CDから曲ファイルをパソコン
　　　に取り込む（パソコンに録音する）...25
　　○音楽配信サイトからの
　　　音楽購入について...........................26
　■パソコンに接続し、曲ファイルを
　　取り込む...27
　■パソコンから取り外す......................30

マイクから音声を録音する
（ボイスレコーダー機能）................32

再生する.......................................34

フォルダ構造について.....................34
フォルダ・曲ファイルの表示に
ついて..35
曲／音声ファイルを再生する.........37
　■再生／一時停止／停止する...............37
　■停止中／再生中のボタン操作...........39
繰り返し／ランダム再生する.........40
音質を変更する
（EQ（イコライザ）の設定）...........42
曲の一部を繰り返し再生する
（A-Bリピート機能）........................43

各種設定.......................................45

各種設定を変更する.........................45
メニュー項目と設定内容.................47

消去する.......................................50

曲／音声ファイルを消去する.........50
フォーマット（初期化）する.........53

付録...55

用語解説..55
故障とお考えになる前に.................57
仕様..65
お客様ご相談窓口............................66
保証書...裏表紙

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ **絵表示の例**

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠	「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠	「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

⚠ 警告

■ **分解・改造しない**

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因になります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⚠警告

■ 異常が起きたら、USBケーブルを取り外し、電池を外す

指示

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない

禁止

水・異物が内部に入ったら、電池を外してください。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 水がかかる場所で使用しない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場・シャワー室で使用しない

水場禁止

火災・感電の原因になります。

⚠警告

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようご注意ください。

■ 置き場所に注意する

指示

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。また、窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因になります。

■ 火に近づけたり、火の中に投げ込まない

禁止

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

■ お子様の手の届かないところで使用・保管する

指示

乳幼児が誤って電池などを飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

■ アルカリ乾電池に注意する

指示

アルカリ乾電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

⚠警告

■ 電池を分解、加工、加熱しない
電池を落としたり、衝撃を加えない
アルカリ電池は充電しない
電池を金属製品と一緒に保管しない

禁止

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●お買い上げ店にご相談ください。

■ 指定外の方法で電池を使用しない

禁止

電池は極性（＋、－）表示通りに入れてください。

⚠注意

■ 本体やUSB端子を布団などで覆った状態で使わない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

■ コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■ 飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない

禁止

事故の原因になることがあります。

■ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■ 異常な高温になる場所に置かない

禁止

暖房器具に近いホットカーペットの上、窓を閉め切った自動車の中や直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

⚠注意

■ 本機の上にものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■ 本機をネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する

指示

けがや本体の故障の原因になることがあります。

■ ネックストラップの取り扱いに注意する

指示

首が絞まりすぎないように、ネックストラップの取り扱いにはご注意ください。

あらかじめご承知いただきたいこと

免責事項

- 本製品およびパソコンの不具合によって曲ファイルや記録されているデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用によって生じたその他の機器やソフトの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、中断を含む）に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 放送やＣＤ、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)におたずねください。（JASRAC 本部： TEL. 03-3481-2121）

商標について

- Windowsは、Microsoft Windows operating systemの略称です。
- Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に™、®はマーク明記しておりません。

使用上のご注意

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを必ず事前に確認してください。

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0〜40℃（結露しない状態）です。

温度差の大きい場所へ急激に移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な再生ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機のビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませた後、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池を本機から取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

本書について

- 本書に記載している表示画面の表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- 本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、カタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。
- 本書に記載の外観および仕様は、製品改良のために予告なく変更することがあります。

お手入れ

柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。

主な特長

512MB内部メモリ搭載

● 64kbpsのWMA形式の曲ファイルなら、約240曲入ります。
→***P.24***

● USBメモリとして曲ファイル以外のデータを保存したり、持ち運ぶことも可能です。→***P.27***

MP3・WMA・WAV対応

● MP3、WMA、WAV形式のファイルを再生できます。→***P.23***

● 自分でCDから取り込んだ曲ファイルだけでなく、インターネットからダウンロードした曲ファイルも再生できます。→***P.26***

ボイスレコーディング

● 内蔵マイクを使用して、会議や家族への伝言メモなどを録音できます（WAV形式）。→***P.32***

ID3タグ対応

● 曲名やアーティスト名などの曲情報を表示できます。→***P.23***

A-Bリピート機能

● 聞きたいパートを何度でも繰り返し再生できます。→***P.43***

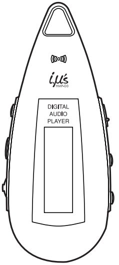
イコライザ機能

● 曲に合わせて音質を選ぶことができます。→***P.42***

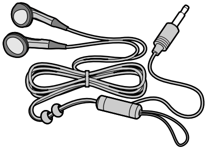
付属品を確認する

はじめに、付属品がそろっているか確認してください。

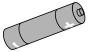
● 本体.................................1



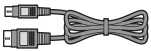
● ネックストラップ
付きイヤホン 1



● 単4形アルカリ乾電池 1



● 専用USBケーブル 1

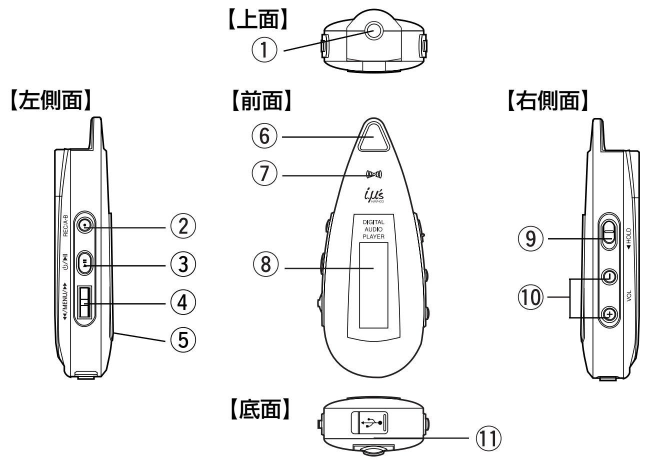


● ポーチ.............................1

● 本書（保証書付）...........1

※ 以降本書では、上記の「専用USBケーブル」を「USBケーブル」と表記します。

各部の名前



①イヤホン端子

②REC（録音）ボタン

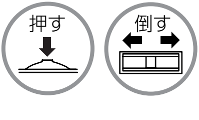
※ A-Bリピート機能（→***P.43***）時にも使用します。

③電源／再生／一時停止ボタン

※ 電源／再生／一時停止（→***P.20***、***37***、***38***）時に使用します。

④ジョグダイヤル

※ 停止／早送り／早戻し／メニュー設定などの基本操作（→***P.39***）時に使用します。



⑤電池ぶた

⑥ストラップ通し穴

⑦内蔵マイク

⑧表示画面

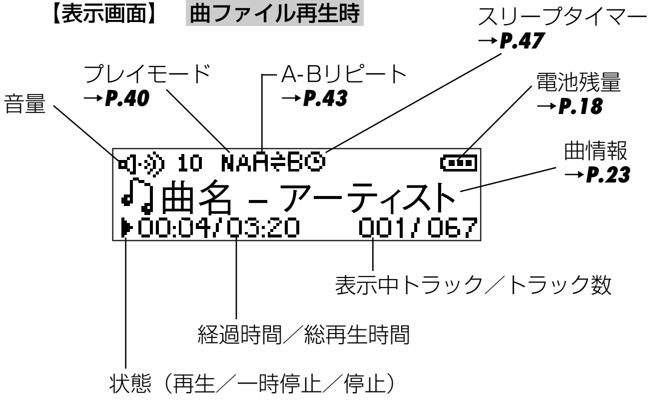
⑨HOLD（ホールド）スイッチ

⑩Vol.（ボリューム）ボタン（音量＋／－）

⑪USB端子

表示画面の見方

【表示画面】 曲ファイル再生時

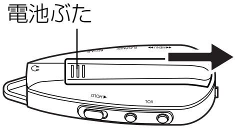


【表示画面】 録音時

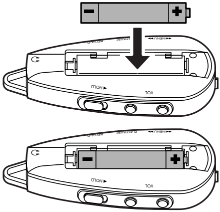
準備する

電池を入れる／交換する

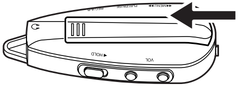
電池の交換は電源をオフにして行ってください。本体が故障したり、曲ファイル及びデータが破損する恐れがあります。（「電源をオンにする／オフにする」→***P.20***）



1 電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて、取り外します。



2 図のように極性（+、−）を間違わないように電池を入れます。



3 電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて、閉めます。

注意

- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は、電池が落下しないようにご注意ください。

■使用できる電池について

本機は単4形アルカリ乾電池以外に、単4形ニッケル水素電池（充電式）を使用できます（日立マクセル（株）HR-4SD推奨）。

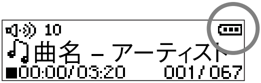
注意

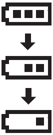
- 単4形マンガン乾電池は使用できません。電池寿命が極端に短くなったり、誤動作を起こす場合があります。
- 付属のアルカリ乾電池は基本操作を確認していただくために同梱しているものです。実際に使用される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
- オキシライド乾電池は使用できません。

■電池残量表示について

表示画面の右上のアイコンは、電池残量を示しています。
電池残量が少なくなったら、新しい電池と交換してください。

【表示画面】





残量は十分です

残量が少なくなっています

間もなく残量がなくなります

※ この表示の場合、バックライトが点灯しなかったり、正常に動作できない場合がありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。

注意

- 使いきった電池は、各自治体の条例に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、消去中に電池を抜くと、録音内容は保存されません。また、録音内容が壊れる可能性がありますので操作中に電池を抜かないでください。
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

ちょっとこれを！

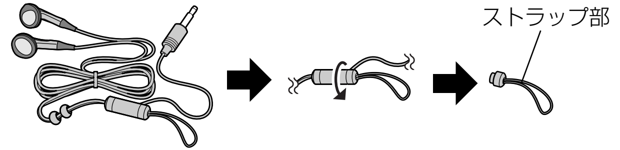
- 連続再生時間‥‥‥‥‥‥‥約16時間

※ MP3（128kbps)、音量：15、バックライトなしに設定した場合。

イヤホンを使用する

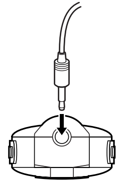
本機はネックストラップ付きイヤホンを採用しています。

1 **付属のネックストラップ付きイヤホンを図のようにネジを緩めて、ストラップ部を外します。**



2 **ストラップ部を本体のストラップ通し穴に通し、ネジを締めてストラップ部を元のように取り付けます。**

3 **イヤホンのプラグをイヤホン端子に差し込みます。**

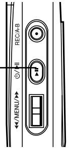


電源をオンにする／オフにする

電源をオンにする

図のように電源／再生／一時停止ボタンを押して、電源をオンにします。

【左側面】



注意

● ホールド時は電源が入りますが、表示画面に「Hold！」が表示され、電源がその後すぐ切れます。ホールド状態を解除してから電源を入れ直してください。

電源をオフにする

電源／再生／一時停止ボタンを電源が切れるまで（「Bye Bye」表示が消えるまで）押し続けます。

注意

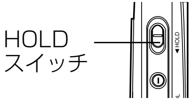
● 電源／再生／一時停止ボタンを押す操作が短すぎると、電源がオフにならない場合があります。

ホールド機能を使う

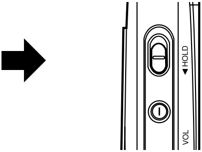
カバンに入れて使うときなどに誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐためにホールド機能を使用します。

HOLDスイッチを矢印方向にスライドさせると、ホールド状態になります。

【右側面】

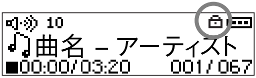


ホールド状態



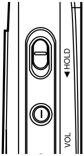
ホールド時は、表示画面に「🔒（鍵マーク）」が表示され、各操作ボタンがはたらかなくなります。

【表示画面】



解除するときは、HOLDスイッチを元の位置に戻します。

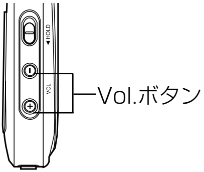
解除時



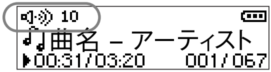
音量を調節する

再生中に、Vol.ボタンの（＋／－）を押します。

【右側面】



【表示画面】



0（無音）から29までの間で調節できます。

注意

- 音量の調節は、再生中に音量を確認しながら行ってください。停止中にVol.ボタンを押すと、ID3［Ver.1］タグの言語表示の切替機能がはたらきます。また、本機は日本語を含め、表示できるID3タグ言語は6種類あります。
- 曲情報が正しく表示されていない場合は、停止中にVol.ボタンを押して、曲情報が正しく表示されるまで調節してください。

パソコンから曲ファイルを取り込む

■パソコンから曲ファイルを取り込む前に

○再生できるファイル形式を確認する

以下の条件のファイルを再生できます。

● MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）

ビットレート ：8～320kbps

※ 曲情報はID3[Ver.1/Ver.2]タグ形式に対応していますが、本機で表示できる曲情報は「曲名」、「アーティスト名」、「歌詞」です。ID3タグ形式の他の曲情報（アルバム名やジャンルなど）は表示されません。***P.55***

● WMA（Windows Media Audio）

ビットレート ：32～192kbps

※ デジタル著作権管理（DRM9／10）対応のWMAファイルも再生できます。

● WAV（Windowsの標準的な音声ファイル）

注意

● MP3ファイルの場合は128kbps以上、WMAファイルの場合は64kbps以上のビットレートを推奨します。上記ビットレート以下の場合でも、再生することはできますが、音が割れて聞こえる場合があります。

● デジタル著作権管理（DRM）対応のWMAファイルは、デジタルデータの著作権を保護するため複製に制限がかけられています。***P.56***

収録可能な曲数（目安）

ファイル形式	ビットレート	曲数
WMA	64kbps	約240曲
	96kbps	約180曲
	128kbps	約120曲
	192kbps	約 90曲
MP3	128kbps	約120曲
	192kbps	約 90曲
	256kbps	約 60曲

※一曲4分で換算した場合の目安。

ちょっとこれを！

● ビットレートの数値が大きくなると音質は向上しますが、ファイル容量は大きくなり、内蔵メモリに記録できる曲数は少なくなります。推奨のビットレートを目安にお試し頂き、目的に応じたビットレート設定をしてください。

○パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続する場合は、以下の条件が揃っていることが必要です。接続する前に必ずご確認ください。

対応OS：Windows XP／2000／Me　日本語版

USBインターフェース（1.1/2.0仕様）を標準装備している機種

注意

● OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証しません。
● USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証しません。
● 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。
● USB2.0の転送モードはFull Speedモードとなります。

○音楽CDから曲ファイルをパソコンに取り込む（パソコンに録音する）

Windows Media Player10などのソフトウェアを使うと、音楽CDからパソコンへ曲を取り込む（録音する）ことができます。
ここでは、Windows Media Player10を使った方法をご紹介します。
詳しくは、お手持ちのパソコンの取扱説明書やWindows Media Player10のヘルプをご覧ください。

1 **音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。**

2 **Windows Media Player 10を起動します。**

3 **画面上部の「取り込み」ボタンをクリックします。**

音楽CDから読み込んだ曲がリスト表示されます。すべての曲（チェックボックス）にチェックマークが付けられています。

再生する前に

4　取り込まない曲のチェックボックスをクリックし、チェックマークを外します。

5　「音楽の取り込み」ボタンをクリックします。

選択した曲の取り込み（パソコンへの録音）が始まります。

ちょっとこれを！

- ［ツール］—［オプション］—［音楽の取込］で、取り込み場所、取り込みの形式、取り込みの音質（ビットレート）などを変更することができます。
- 特に変更をしない場合（初期設定）は、「マイミュージック」フォルダ内に「アーティスト名」フォルダが作成され、取り込んだ曲はそのフォルダ内に保存されます。アーティスト名を持たない場合は、「アーティスト情報なし」フォルダが作成され、そのフォルダ内に保存されます。

○音楽配信サイトからの音楽購入について

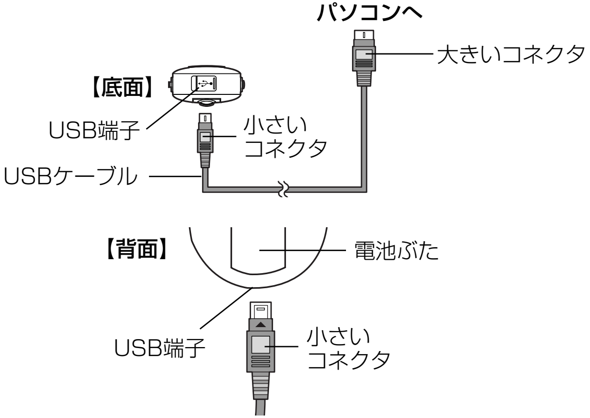
本機は、音楽配信サイトから購入して、ダウンロードした曲ファイルを取り込んで聞くことができます。

- 音楽配信サイトからの購入方法やダウンロードのしかたなどについては、音楽配信サイトの情報をご覧ください。
- ダウンロードした曲ファイルが本機で再生できるかどうかについては「再生できるファイル形式を確認する」をご確認ください。
→***P.23***

■パソコンに接続し、曲ファイルを取り込む

1 **本機の電源をオンにして、付属のUSBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタを本機のUSB端子へしっかりと接続します。**

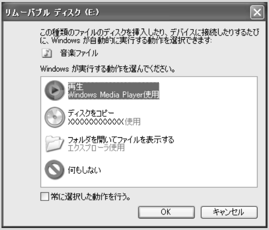
差し込む向きにご注意ください。



注意

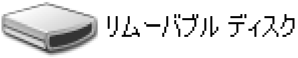
- パソコンに接続する場合は、必ず本機の電源をオンにしてから接続してください。接続した後に本機の電源をオンにすると、本機が正しく認識されない場合があります。

- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンが本機を認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- Windows XPをお使いの場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。



2 「マイコンピュータ」を開き、本機に該当する「リムーバブルディスク」が表示されているか確認します。

本機は、「リムーバブルディスク」として表示されます。「リムーバブルディスク」が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に*P.57***をご覧ください。



3 Windows Media Player 10を起動して、「同期」をクリックします。

4 転送したい曲をメニューから選択します。

チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
(個別に選ぶことができます。)

5 デバイスの項目で本機に該当するリムーバブルディスクを選択します。

6 「同期の開始」をクリックして、転送を開始します。

転送を開始すると状態が「転送しています」と表示されます。転送が終了すると「デバイスへ同期済み」に変わります。

注意

- 曲ファイルを本機に取り込み中は、USBケーブルは抜かないでください。保存されている曲ファイルや記録されているデータなどが破損する恐れがあります。
- パソコンと接続中は、本機のボタン操作は無効になります。
- ファイル数やフォルダ数が制限数を超えると、「ファイル制限！」というメッセージが表示されます。

  制限数 ：ファイル数　380ファイル
  　　　　　フォルダ数　150フォルダ

■パソコンから取り外す

パソコンから取り外すときは、以下の手順で行ってください。

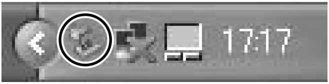
注意

- 正しい取り外し方をしないと、本機やパソコン、保存されている曲ファイルや記録されているデータが破損する恐れがあります。必ず正しい取り外し方でUSBケーブルを取り外してください。

1 本機を利用しているアプリケーションをすべて終了します。

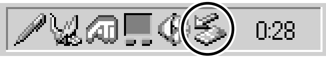
2 デスクトップの右下にある「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックします。

Windows XPの場合　Digicam USB Mass Storage - ドライブ (E:) を安全に取り外します



Windows 2000の場合　Digicam USB Mass Storage Device - ドライブ (J:) を停止します

Windows Meの場合　USB ディスク - ドライブ (E:) の停止



3 本機に該当するドライブを選んで、「USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します」をクリックします。

複数表示される場合は、本機に該当する項目をクリックしてください。本機の表示は、「マイコンピュータ」などで確認してください。

4 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。（Windows XPでは「OK」のクリックは不要です。）

5 本機を取り外します。

マイクから音声を録音する(ボイスレコーダー機能)

本機の内蔵マイクを使って、録音できます。

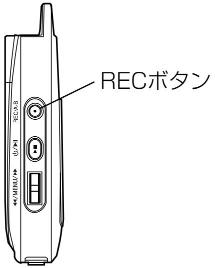
注意

● 大切な録音を行う前に、必ず試し録音をして、正常に録音ができることを事前に確認してください。

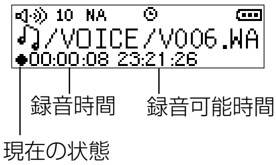
1　一時停止/停止状態で、RECボタンを押します。

録音中は、表示画面に「●　録音時間　録音可能時間」が表示されます。
録音を開始すると、新しいファイルが自動で作成されます。
録音されたファイルは自動で作成された「VOICE」フォルダの中に保存され、ファイル名は「V001.WAV」から順に自動で付けられます。

【左側面】



【表示画面】



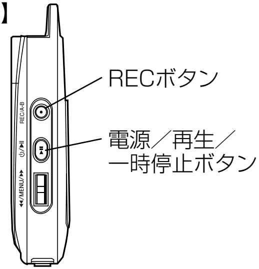
再生する前に

2 録音を終了する場合は、RECボタンを押します。

録音を一時停止する場合は、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

録音を再開する場合は、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

【左側面】



ちょっとこれを！

- 内蔵マイクは無指向性のため、周囲の環境によって雑音が入ることがあります。
- 録音中にメモリ容量がいっぱいになると、「メモリフル！」という警告が表示されます。

内蔵マイク録音時のファイル形式／録音可能時間

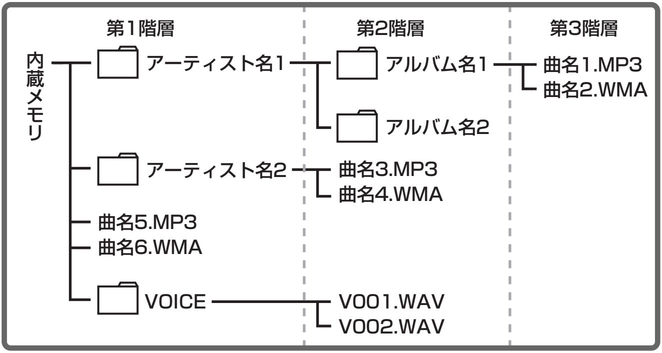
以下のファイル形式で保存します。

録音ファイル形式：WAV
ビットレート：8kbps
チャンネル：モノラル
最大録音可能時間：約34.8時間

フォルダ構造について

パソコンの操作で、本機のメモリの中に多階層のフォルダを作成して管理することができます。

フォルダを作成したときのメモリ内のイメージ



ちょっとこれを！

- 「VOICE」フォルダは、内蔵マイク録音時に自動で作成されます。
- 本機に収録されている曲の中から、好きな曲、よく聞く曲などをアーティスト／アルバムなどごとにフォルダを作成しておくと、再生時に選択しやすく、便利です。

● 本機で取り扱い可能なフォルダ数、フォルダ階層数、ファイル数の制限数は、以下の通りです。

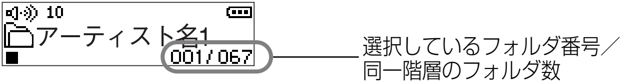
制限数	：フォルダ数	：150
	フォルダ階層数	：15
	ファイル数	：380

フォルダ・曲ファイルの表示について

フォルダ選択中の表示

フォルダを作成すると、フォルダを優先して表示します。
フォルダを選択中は「🗀」を表示します。

【表示画面】　フォルダ選択中の表示

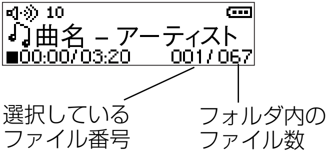


フォルダの中を表示する（曲ファイルを表示する）・1つ下の階層を表示する

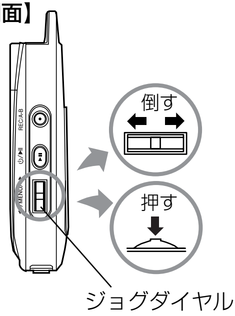
ジョグダイヤルを左右に倒し、再生したいフォルダを選び、ジョグダイヤルを押します。

フォルダ内（曲ファイル）を表示しているときは「 ♫ 」が表示され、表示画面の下に「選択しているファイル番号／フォルダ内のファイル数」が表示されます。

【表示画面】



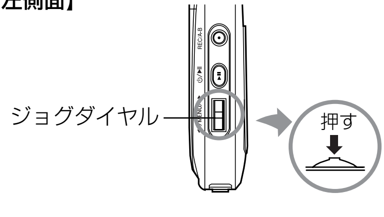
【左側面】



1つ上の階層を表示する

停止状態でジョグダイヤルを押します。

【左側面】



曲／音声ファイルを再生する

■再生／一時停止／停止する

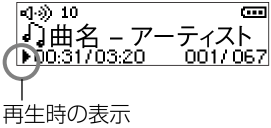
再生／一時停止は、電源／再生／一時停止ボタンで行います。
停止は、ジョグダイヤルで行います。
現在の状態は、表示画面にアイコン（▶、❚❚、■）で表示されます。

再生▶する

一時停止（❚❚）または停止（■）中に、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

【左側面】

【表示画面】

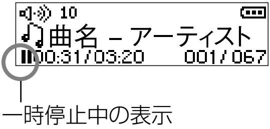


一時停止 II する

再生（ ▶ ）中に、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

【左側面】

【表示画面】



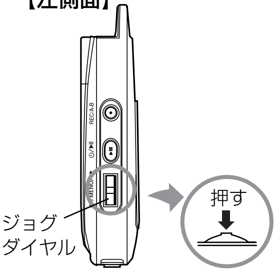
注意

● 電源／再生／一時停止ボタンを押し続けると、電源がオフになります。

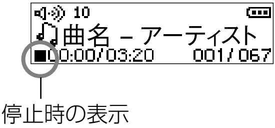
停止 ■ する

再生（ ▶ ）または一時停止（ II ）中に、ジョグダイヤルを押します。

【左側面】



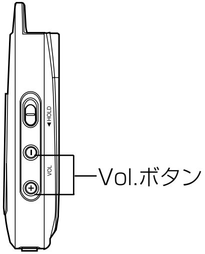
【表示画面】



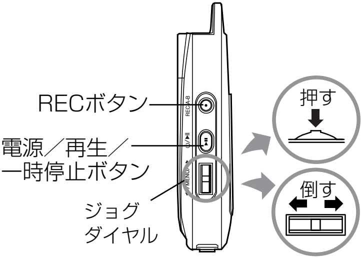
■停止中／再生中のボタン操作

停止中／再生中に本機を操作すると以下のように動作します。

【右側面】



【左側面】



ボタン	操作	本機の状態	
		停止中	再生中
電源／再生／一時停止ボタン	押す	再生	一時停止
	長く押す	電源オフ	電源オフ
ジョグダイヤル	押す	フォルダ表示※1	停止
	長く押す	メニュー	メニュー
	左へ倒す	一つ前のファイル名を表示する	曲の先頭に戻る
	左へ長く倒す	早くファイル戻し	早戻し
	右へ倒す	一つ後ろのファイル名を表示する	次の曲の先頭に移る
	右へ長く倒す	早くファイル送り	早送り
Vol.ボタン	押す	ID3タグ言語変更※2	音量上／下げる
	長く押す	早く音量上／下げる	早く音量上／下げる
RECボタン	押す	録音開始※3	ポイントA設定※4

※1　停止中にジョグダイヤルを押すと、停止中のファイルが属しているフォルダが表示されます。

※2　停止中にVol.ボタンを押すと、ID3タグの言語表示が切り替わります。

※3　停止中にRECボタンを押すと、ボイスレコーダー機能がはたらき、録音を開始します。

※4　再生中にRECボタンを押すと、A-Bリピート機能がはたらきます。

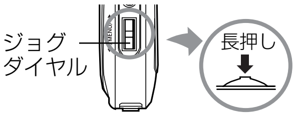
繰り返し／ランダム再生する

お気に入りの曲ファイルを繰り返し再生したり、ランダム再生したりすることができます。

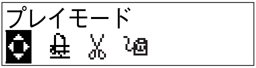
1 **ジョグダイヤルを長押しします。**

メニューが表示されます。

【左側面】



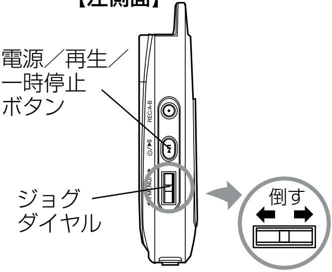
【表示画面】　メニュー



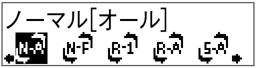
2 **ジョグダイヤルを左右に倒して「プレイモード」を選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。**

選択できる「プレイモード」（8種類）が表示されます。

【左側面】



【表示画面】



N.A ノーマル［オール］：

すべての曲ファイルを1回再生します。
（VOICEフォルダ内の音声ファイルは再生されません。）

NF ノーマル［フォルダ］：

同じフォルダ内の曲／音声ファイルを1回再生します。

R1 **1曲リピート：**
1つの曲ファイルのみを繰り返し再生します。

RA **全曲リピート：**
すべての曲ファイルを繰り返し再生します。
（VOICEフォルダ内の音声ファイルは再生されません。）

SA **ランダム：**
すべての曲ファイルをランダムに再生します。
（VOICEフォルダ内の音声ファイルは再生されません。）

SR **ランダム&リピート：**
すべての曲ファイルをランダムに繰り返し再生します。

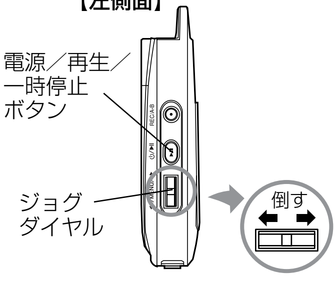
SF **ランダム［フォルダ］：**
同じフォルダ内の曲／音声ファイルをランダム再生します。

RF **リピート［フォルダ］：**
同じフォルダ内の曲／音声ファイルを繰り返し再生します。

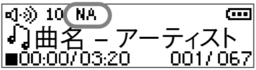
3 ジョグダイヤルを左右に倒して、設定したいプレイモードを選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

表示画面に選択した設定のアイコンが表示されます。

【左側面】



【表示画面】



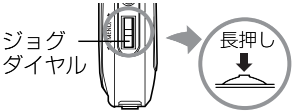
音質を変更する（EQ(イコライザ)の設定）

お好みの音質を選んで再生できます。

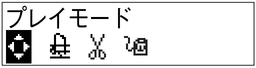
1　ジョグダイヤルを長押しします。

メニューが表示されます。

【左側面】

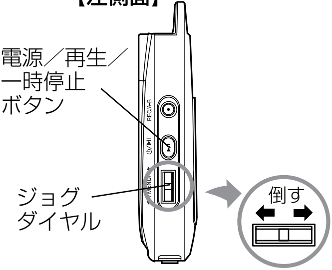


【表示画面】　メニュー

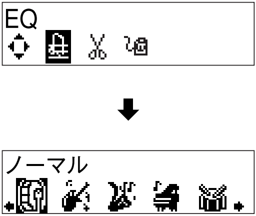


2　ジョグダイヤルを左右に倒して「EQ」を選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

【左側面】

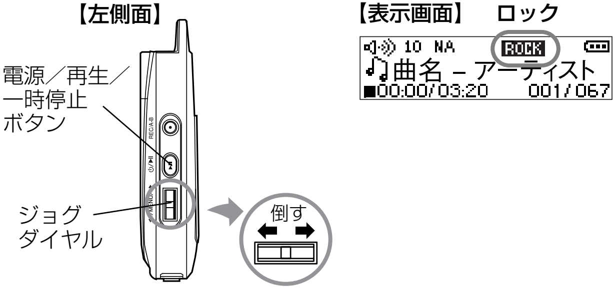


【表示画面】



選択できるメニュー（6種類）が表示されます。
ノーマル (アイコンなし)／ロック (ROCK)／ジャズ (JAZZ)／クラシック (CLASS)／ポップ (POP)／ユーザ設定 (CUST)
「ユーザ設定」を選択すると、「低音」と「高音」が表示されます。変更する音域を選んで電源／再生／一時停止ボタンを押すと、選択できる設定（1～4）が表示されます。

3 ジョグダイヤルを左右に倒して、設定したい「EQ」を選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。



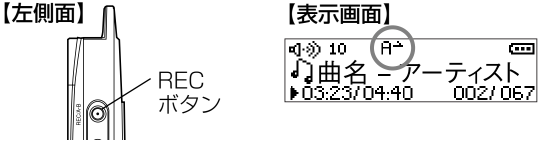
表示画面に選択した設定のアイコンが表示されます。
（「ノーマル」選択時は表示されません。）

曲の一部を繰り返し再生する（A-Bリピート機能）

本機では、曲の一部を繰り返し再生することができます。開始位置（ポイントA）と終了位置（ポイントB）を設定すると、その区間を繰り返し再生します。

1 曲／音声ファイルを再生中に、RECボタンを押します。（ポイントAが設定されます。）

表示画面に「A-」が表示されます。

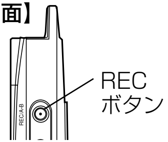


再生する

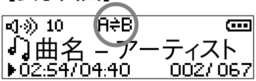
2 **RECボタンをもう一度押します。**
（ポイントBが設定され、繰り返し再生が開始されます。）

表示画面に「A-B」が表示されます。

【左側面】



【表示画面】



3 **繰り返し再生を解除する場合は、RECボタンを押します。**

表示画面の「A-B」表示が消え、設定（ポイントA/B）は解除されます。

各種設定

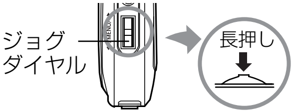
各種設定を変更する

以下の操作で各種設定を変更したり、確認したりすることができます。

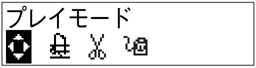
1　ジョグダイヤルを長押しします。

メニューが表示されます。

【左側面】



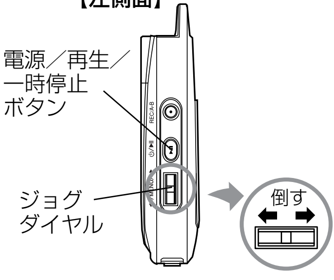
【表示画面】　メニュー



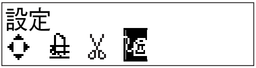
2　ジョグダイヤルを左右に倒して「設定」を選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

設定、確認できる内容（9種類）が表示されます。

【左側面】

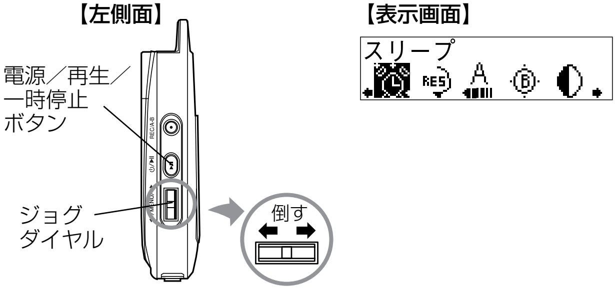


【表示画面】



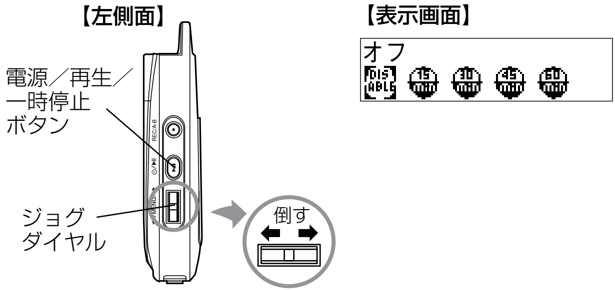
3　ジョグダイヤルを左右に倒して設定したい内容を選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

各メニューの設定内容が表示されます。



4　ジョグダイヤルを左右に倒してお好みの設定を選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

設定した内容を保持し、メニューに戻ります。



メニュー項目と設定内容

設定を変更する操作方法は「各種設定を変更する」（***P.45***）をご覧ください。

はお買い上げ時の設定（初期値）です。

スリープ

スリープタイマーの設定をします。
設定時間が経つと、自動で電源が切れる機能です。
スリープタイマーは、電源が切れると「オフ」に戻ります。

オフ：スリープタイマーを無効にします。
15分：15分後に電源をオフにします。
30分：30分後に電源をオフにします。
45分：45分後に電源をオフにします。
60分：60分後に電源をオフにします。

リジューム

電源をオンにしたとき、電源をオフにする前に再生していた曲／音声ファイルを呼び出して再生します（リジューム機能）。

オン：リジューム機能をオンにします。
オフ：リジューム機能をオフにします。

スクロールスピード

表示される曲情報のスクロールする速さを選びます。

オフ：スクロールしません。

1：最もゆっくり　　**2**：ゆっくり

3：標準　　**4**：最も早い

バックライトタイマー

バックライトが点灯する時間を選びます。

オフ：点灯しません。

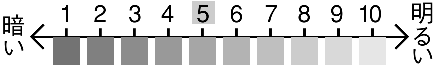
10秒：10秒間点灯します。　　**30秒**：30秒間点灯します。

60秒：60秒間点灯します。　　**常にオン**：点灯し続けます。

コントラスト

表示画面のコントラスト（明るさ）を選びます。10段階（1～10）で調節できます。

（お買い上げ時：5 ）



初期設定へ

すべての設定をお買い上げ時の設定（初期値）に戻す場合に選びます。

表示言語

メニューを表示する言語を選択します。

英語　：すべてを英語（英数字）で表示します。
日本語：日本語（漢字、カタカナ、ひらがな、英数字）で表示します。

インフォメーション

バージョン情報とメモリ残量を表示します。

XXXXX
Free： XXX MB
Total： XXX MB

オートオフ

オートパワーオフの時間を設定します。
操作していない時間（再生や録音を停止している状態）が一定時間経過すると、自動で電源をオフにします。省電力のための機能です。

オフ　：電源をオフにしません。
3　　：3分間操作しないと電源をオフにします。
5　　：5分間操作しないと電源をオフにします。
10　：10分間操作しないと電源をオフにします。
30　：30分間操作しないと電源をオフにします。

曲／音声ファイルを消去する

注意

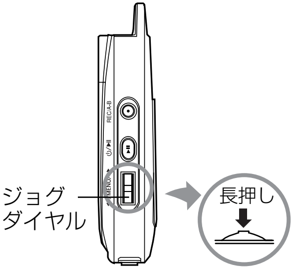
● 一度消去してしまったファイルは二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかをよく確かめてから行ってください。

1 消去したい曲／音声ファイルを表示させます。

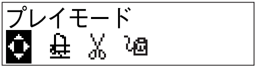
2 ジョグダイヤルを長押しします。

メニューが表示されます。

【左側面】



【表示画面】



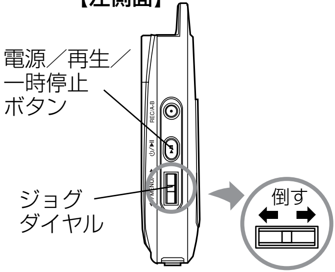
3 ジョグダイヤルを左右に倒して「消去」を選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

表示画面に「消去しますか？」と表示されます。

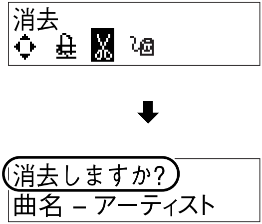
注意

● この時点ではまだ消去されていません。

【左側面】



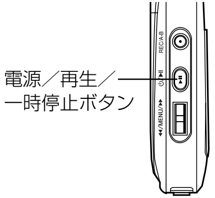
【表示画面】



4 電源／再生／一時停止ボタンを押すと、選んだ曲／音声ファイルを消去します。

表示画面に「消去しました。」と表示されます。

【左側面】



【表示画面】

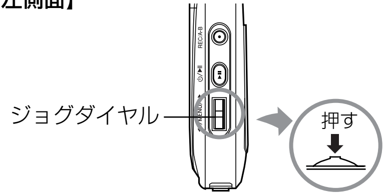
消去しました。

続けて他の曲／音声ファイルを消去するときは、消去したい曲／音声ファイルを選び、電源／再生／一時停止ボタンを押します。

5 消去を終了する場合は、ジョグダイヤルを押します。

表示画面に表示されている「消去しますか？」が消えます。

【左側面】



フォーマット（初期化）する

フォーマット（初期化）とは、内蔵メモリに曲／音声ファイル及びデータを記録できるようにする作業です。
本機の内蔵メモリをフォーマットする場合は、本機の操作ではできません。
以下の手順に従ってパソコンと接続してから行ってください。

注意

- フォーマット（初期化）すると、内蔵メモリ内のデータはすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。
  一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。

1 ***P.27*****の手順1に従って、****本機とパソコンを接続します。**

2 **「マイコンピュータ」を開き、本機に該当する「リムーバブルディスク」を右クリックし、「フォーマット」をクリックします。**

フォーマットの対象が本機であることを確認してから実行してください。誤って他のドライブをフォーマットするとパソコン上の大切なデータやファイルを消去することになりますのでご注意ください。

3 「FAT16」(FAT) を選び、「開始」ボタンをクリックします。

注意

● 「FAT16（FAT)」以外は選ばないでください。

4 フォーマットが終わりましたら、「閉じる」ボタンをクリックします。

5 終了したら、***P.30***の手順に従って本機をパソコンから取り外します。

用語解説

MP3（MPEG-1 Audio Layer3）

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10の圧縮率が得られます。

WMA（Windows Media Audio）

マイクロソフト社が開発した音声圧縮方式、及びそれを使用したオーディオファイルです。この圧縮方式では、約1/20の圧縮率が得られます。

WAV

Windowsの標準的な音声ファイルです。

ID3タグ

MP3ファイルが持っているアーティスト名や曲名、CDアルバム名などの曲情報で、デジタルオーディオプレーヤーで再生するときに表示するための規格です。

ビットレート

１秒間に転送されるデータ量の単位で、単位はbps（bit per second）。数値が多きほど音質は良くなりますが、CDとほぼ同等の音質と言われているビットレートは、MP3では128kbps、WMAでは64kbpsです。

DRM

デジタル著作権管理。インターネットを通じて音楽や映像を配信する際に、違法なコピーを防止するために使われます。コンテンツとともに再生のためのライセンスを配布するため、ライセンスのない別のパソコンでは再生できず、デジタルプレーヤーもDRMに対応していない機器では再生できません。

故障とお考えになる前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

電池・電源

症状	主な原因	処置
電源がオンにならない	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。 ***P.16***
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 ***P.18***
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源をオンにします。 ***P.16***
	●ホールド状態になっている。	→HOLDスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度電源をオンにします。 ***P.21***
電池の消耗が早い	●温度が極端に低い環境で使用している。	—
	●プレイモードを多用している。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に再生される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池または単4形ニッケル水素電池をご使用ください。	—

症状	主な原因	処置
電源が途中でオフになる	●オートパワーオフがはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。
		→オートオフ時間の設定を変更する。***P.49***
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
電池の残量表示が正しく表示されない	●温度が極端に低い環境で使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***

パソコンと接続する

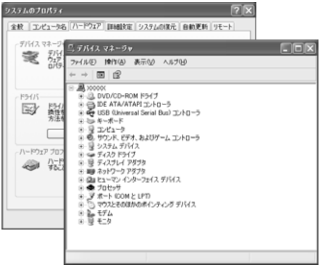
症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク］が表示されないなど）	●本機を電源オフでパソコンに接続した。	→本機の電源をオンにしてからパソコンに接続する。***P.27***
	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBハブなどを使用している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンと本機からケーブルを抜いてもう一度しっかり接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク］が表示されないなど）	●本機の動作を妨げている他のドライバまたはデジタルオーディオプレーヤーがある。［デバイスマネージャ］を開き、［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］確認してください。	→［USB大容量記憶装置デバイス］に黄色い［！］マークが付いているときは、［USB大容量記憶装置デバイス］を削除してから、本機を取り外し、もう一度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。［デバイスマネージャ］を開き、［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］を確認してください。	→［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］が表示されていないときは、USB機能が無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更してください。
		→［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］に黄色い［！］や赤い［×］マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更してください。

症状	主な原因	処置
パソコンから曲ファイルを本機に転送できない	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンと本機からケーブルを抜いてもう一度しっかり接続する。
	●本機のメモリ残量が不足している。	→ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去してください。
	●本機に転送できるファイル数は380ファイルです。それを超えると転送できません。	—
	●再生期間やコピー回数などの制限のついた曲は、著作権の意向によって、転送できなことがあります。	→それぞれ曲に関する内容については、配信者にお尋ねください。

「デバイスマネージャ」

「デバイスマネージャ」は、「マイコンピュータ」から右クリックで「プロパティ」を選ぶか、「コントロールパネル」から「システム」をダブルクリックして、「システムのプロパティ」から開きます。



録音

症状	主な原因	処置
マイク録音できない	●本機のメモリ残量が不足している。	→ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去してください。

再生

症状	主な原因	処置
本機で文字が正しく表示されない	●ID3タグ情報の言語設定が正しくない。	→停止中、Vol.ボタンを押して、正しいID3タグ情報言語設定にしてください。***P.22, 39***
	●フォントデータの制限により表示できない文字があります。	—
ボタンを押しても反応しない	●ホールド状態になっている。	→HOLDスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度操作してください。
	●パソコンと本機をUSBケーブルで接続している。	→パソコンと本機を接続している間は、操作できません。USBケーブルを取り外してから、操作してください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
	●結露している。	→そのまま約2、3時間置いてからご使用ください。

症状	主な原因	処置
音声が聞こえない	●音量が最小になっている。	→Vol.ボタンを押して音量を上げてください。
	●イヤホン端子に正しく差し込まれていない。	→イヤホンのプラグを正しく差し込んでください。
	●イヤホンのプラグが汚れている。	→乾いた布でプラグを拭き取ってください。
	●ファイルが入っていない。	→「ファイルがありません！」と表示されるときは曲ファイルを取り込む、または録音してください。***P.27, 32***
	●ファイル形式がMP3／WMA／WAVではない。	→パソコン上でファイル形式を確認してください。本機はMP3／WMA／WAV形式以外の曲／音声ファイルの再生はできません。
音声が割れる／雑音が入る	●MP3／WMAファイル形式のビットレート設定値が低い。	→録音するときに、MP3／WMAのビットレートの設定値を高くしてください。
	●イヤホン端子に正しく差し込まれていない。	→イヤホンのプラグを正しく差し込んでください。
	●イヤホンのプラグが汚れている。	→乾いた布でプラグを拭き取ってください。

症状	主な原因	処置
バックライトが点灯しない	●バックライトタイマーの設定が「オフ」になっている。	→バックライトタイマーの設定を「オフ」以外に変更してください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
メニューの表示言語が英語になっている	●「表示言語」が「English」になっている。	→「表示言語」を「日本語」に切り替える。
バックライトが突然オフになる	●バックライトタイマーがはたらいている。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。***P.18***
表示画面が暗すぎる／明るすぎる	●コントラスト数値が正しくない。	→コントラストを調整してください。

警告表示

表示	主な原因	処置
ファイルがありません！	●再生できるファイルが入っていない。	→再生できるファイルを本機に転送してください。
ファイル制限！	●本機に転送できるファイル数は380ファイルです。それを超えると転送できません。	—

表示	主な原因	処置
メモリフル！	●本機のメモリ残量が不足している。	→ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去してください。
ライセンス確認！	●再生期間やコピー回数などの制限のついた曲は、著作権の意向によって、転送できないことがあります。	→それぞれの曲に関する内容については、配信者にお尋ねください。

仕　様

内蔵メモリー	：	512 MBフラッシュメモリ※1
表示画面	：	ブルーバックライトLCD
曲ファイル形式	：	再生 ・MPEG-1 Audio Layer-3 ビットレート：8 ～ 320 kbps ・Windows Media Audio ビットレート：32 ～ 192 kbps デジタル著作権管理（DRM）：DRM9／10
音声ファイル形式	：	録音（内蔵マイク）　最大録音時間：約34.8時間 ・WAV（ADPCM）　モノラル ビットレート：32 kbps サンプリング周波数：8kHz
電池持続時間	：	約16時間※2
周波数特性	：	20～20,000 Hz
出力端子	：	・イヤホン3.5φミニ　：5.0mW＋5.0mW　32 Ω ・S/N比　：85 dB
内蔵マイク	：	無指向性マイク
USB端子	：	USB1.1／2.0※3
表示言語	：	日本語、英語
イコライザ	：	ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップ、ユーザ設定
再生モード	：	ノーマル［オール］、ノーマル［フォルダ］、1曲リピート、全曲リピート、ランダム、ランダム&リピート、ランダム［フォルダ］、リピート［フォルダ］
動作温度	：	＋0℃～＋40℃
定格出力	：	20mW（JEITA/DC）
電源	：	単4形乾電池×1本
最大外形寸法	：	幅34×高さ89×奥行き19.5 mm
質量	：	約28g（電池含まず）
付属品	：	本体、専用ネックストラップ付きイヤホン、専用USBケーブル、ポーチ、単4形アルカリ乾電池（1本）、取扱説明書（保証書付）

※1 内蔵のフラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記録可能領域は約480MBになります。

※2 電池持続時間は、MP3ファイル（128kbps）、音量：15、バックライトなしに設定した場合。また、電池の種類、メーカー、保存状態、使用周囲温度などによって変わります。上記はあくまでも目安であり、保証するものではありません。

※3 USB2.0の転送モードはFull Speedモードとなります。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービス
に関するご相談は
TEL 0120 — 3121 — 68
FAX 0120 — 3121 — 87
（受付時間）
365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱い
についてのご相談は
TEL 0120 — 8802 — 28
FAX 03— 3260 — 9739
（受付時間）
月～金曜日／9:00～17:30
携帯、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇
など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

（ヘ）消耗品を取り替える場合。
（ト）本書のご提示がない場合。
（チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望する場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には本書記載のご相談窓口にご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または本書のご相談窓口にお問合せください。
● 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
● このデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後3年です。
● 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

デジタルオーディオプレーヤー保証書　持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HMP-D3	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※ 印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用）に使用されて生じた故障または損傷。

（裏面に続く）

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03（3260）9611　　FAX.03（3260）9739